

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	木質系住宅の振動障害に関する小委員会		主 査 名：塩田正純 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)		委員長名：中島正愛 主 査 名：宮澤健二
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振動班 (全身振動に関する研究動向)、木質構造班 (地盤から木質構造本体に関する研究動向)、計測班 (木質系住宅の揺れから振動障害に関する研究動向)、全体とりまとめ班に分かれ、報告、意見交換を行なう。</li> <li>・ 木質系住宅における振動測定を行い、同時にアンケート調査を実施し人体感覚との関係について検討を行なう。</li> <li>・ 木質系住宅の耐力壁量や床剛性等をもとに、地盤から入力した振動が家屋により増幅されるモデルを作成し、得られる振動レベルから振動感覚評価を行ない、モデルの妥当性を検討する。</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 塩田正純 (工学院大)、中村昇 (秋田県立大)、佐野泰之 (ベネック)、伊積康彦 (鉄道総研)、入江康隆 (宇都宮大)、梶川久光 (ミサワホーム)、川本聖一 (三菱地所ホーム)、小島由紀夫 (積水ハウス)、新藤智 (法政大)、藤野栄一 (能率開発大)、松本泰尚 (埼玉大) 守屋嘉晃 (建材試験センター)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2009 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	4 棟の木質系住宅に関し、振動測定を行い、人体感覚の関係を求めた結果、振動レベルが 50dB でも、感じる人がいることが分かった。また、時刻歴応答計算を用いて、水平および鉛直振動を推定するモデルを作成し、実測値と比較した結果、傾向を表していることが分かった。
委員会活動の問題点・課題	現状を踏まえた問題解決が不可欠であるが、振動障害は企業にとっては現状開示が難しい問題であり、現状をどう把握するかが今後の課題である。